

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 媛のくに

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)

氏名 毛利 玲子(石川 修子)

評価完了日 平成21年 1月 4日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			家庭的な環境と地域住民との交流の下で、個々の入居者様がその人らしく生活できる為の支援を、理念の真髄としている。入居者様が第二の我が家と思って頂けるよう取り組んでいる。		開設から3年になるので、再度職員全員で話し合い見直したい。
			(外部評価)		
			事業所では、「地域の中で、その人らしく、当たり前の、普通の生活が送れるよう、お手伝いします」という理念を掲げ、地域に開かれた事業所を目指して取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			申し送り時やミーティング時、ケアプランの見直し時には、職員全体や個別に理念について掘り下げ具体的にケアについて話し合い、ケアの統一を図っている。		理念に基づいた月間目標を作成し、同じ方向性で日々のケアに生かせるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			事業所の理念は、管理者を中心に職員で考えて作成されており、理念の実践に向けて、日々のケアに取り組んでおられる。		職員は、「今後、事業所の理念に基づいて、各ユニット毎の理念も作り、取り組んでいきたい」と話しておられた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			事業所の玄関に、理念を掲示して訪問者全員に見てもらえるようにしている。また、家族の集いなどでも話している。		家族に理念についての意見を聞き、作成時の参考にしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 菜園の相談をしたり、時には手伝ってもらっている。また、季節の野菜や果物を頂いたり、日々の散歩や買い物時、近隣の人達と挨拶を交わしたりお話をしている。ゴミ置き場の清掃をしたり、公園で子供達と会話されたりもしている。		交流の機会を持ち、地域に開かれたグループホームにしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入し、地域の行事、防災訓練などにも積極的に参加している。また、事業所の夏祭りには、多数の方に参加していただいています。		事業所が持っている認知症に対する知識や実践経験を生かし、認知症に対する勉強会を行ったり、気軽に介護相談などに立ち寄っていただけるような開かれたホームを目指したい。
			(外部評価) 町内の忘年会に出席されたり、町内会長の方の依頼で町の「かわら版」作成のお手伝いをされる等、地域の一員として交流に努められる。又、地域の運動会や盆踊り等には、利用者も参加されたり、町内のゴミ置き場の清掃も職員と利用者で率先してされている。事業所主催の夏祭りには、子供会や近所の方等、50名の方が来て下さった。近隣の短期大学の学生の研修も受け入れてられる。		管理者は、「今後、婦人会や老人会にも働きかけ、協力をいただきながら、認知症の勉強会等も開いていきたい」と考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議では話合っているが、認知症ケアの啓発や相談には取り組めていない。		事業所が持っている認知症に対する知識や実践経験を生かし、認知症に対する勉強会を行ったり、気軽に介護相談などに立ち寄っていただけるような開かれたホームを目指したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 管理者やリーダーは研修に参加し、理解を深める努力をしている。自己評価は、職員全員で行い評価のすり合わせを行った。また、外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
			(外部評価) 自己評価は、評価項目を全職員で分担して取り組み、その後、職員間で話し合いを重ね、管理者がまとめられた。管理者は、さらに「地域とのつきあい」や「個別支援」の充実を図っていきたいと感じておられた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、特に、「ホーム便り」の発行や「家族の集い」の開催等、ご家族との関係作りに取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回開催し、事業所の活動報告やその時点で 取り組んでいる事について説明をして、参加者から意 見や、質問・助言をいただきケアの質の向上に努めて いる。また、外部評価の結果も報告している。		運営推進会議に、地域の婦人会や老人会の方にも参加 していただけるようにしたい。
			(外部評価)		
			会議には、利用者、ご家族、町内会長、近隣のグループホー ムの職員の方等も出席されており、事業所から活動状況や利 用者の近況等について報告し、ご意見をうかがっている。利 用者に、事業所の「住み心地」について話していただくこと もある。事業所の夏祭り重ねて会議を開催されたこともある。 。		管理者は、「今後は、すべての職員が、順次会議に出 席できるようにしたい」と話しておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			近くに有る2つのグループホームの運営推進会議に参加した時、事業所の状況やサービスの取り組みにつ いて伝えたり、運営上の質問に答えてもらっている。市 主催の研修会に参加したり、市職員の研修も受け入れ ている。		
			(外部評価)		
			市の担当者は、運営推進会議時、ご家族や地域の方か らの質問等にも答えてくださっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			外部の勉強会などに参加して、利用が有る場合はス ムーズに支援できるようにしている。必要が見込まれ るご家族には、時期を見て内容を説明している。今現 在は、一人の利用が有る。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修会の参加や、職員間での勉強会やミーティング等 で、高齢者虐待についての認識を深めている。また、 日々のケアの中で虐待が起きないように、環境・雰囲気 ・職員の意識付けに気を付けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前には、ご自宅を訪問したりホームを見学してもらって、関係作りに心掛けている。また、契約時には、利用料や起こりうるリスク・重度化や看取り・医療連携体制の実情などについて説明し、理解納得を図っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に参加していただき、外部の人に意見や思いを伝えられる機会を設けている。また、家族やボランティア・看護師の訪問時は、入居者様と1対1でお話出来るような環境作りをしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の訪問時、健康状態や生活の様子を報告しているが、状態変化時はその都度電話で連絡している。また、遠方の家族には、年2回ホーム便りを送っている。金銭管理に付いては、毎月領収書と小遣い帳のコピーを郵送し、家族の訪問時に小遣い帳を見てもらっている。 (外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶりを伝えておられる。遠方のご家族には、毎月の電話や、3ヶ月に1度の写真を添えた手紙で伝えておられる。事業所では「何事も事前にご家族に報告し、事後承諾とならないよう」心がけておられた。年2回、行事の様子等の写真や職員の紹介等を載せた「ホーム便り」をご家族に届けておられる。		さらにご家族がお知りになりたいこと等をうかがい、「ホーム便り」のさらなる充実を図っていかれてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会は設けていないが、年1回家族の集いの日を持ち、ホームで食事等しながら気軽に意見や希望を言ってもらえる場が持てるようになった。 (外部評価) 年に1度、家族の集いを設けておられる。その際、ご家族だけで話される機会もある。今年から、利用者、ご家族、職員合同の忘年会を開催する運びとなっている。		回数を増すごとに、参加者が増えるようにしていきたい。 管理者は、今後、家族の集いを年2回開催し、さらに多くのご家族に参加していただき、ご意見をうかがえるよう、働きかけていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的に月1回のミーティングを設けたり、プチカンファや申し送り時などを利用して、情報の共有に心掛け提案を聞く機会を設けている。		職員からもっと意見を出してもらえるように、出してもらった意見のくみ上げを図る。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者や家族の状況に応じて、柔軟な対応が取れるよう、スタッフ全員で協力しローテーションを組んで対応している。		月1回の外出日や、行事（地域行事・関連施設行事）などの日は、勤務者を増員するなどしている。余裕を持って人員配置が出来るよう職員数の確保をしたい
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 入居者と職員との馴染みの関係が重要と考えており、入居者のダメージを極力避けるよう、どうしても必要な時だけにしている。		
			(外部評価) 開設当初からの職員が多く、利用者や職員は馴染みの関係を築いておられる。職員は、「運営者や管理者が、悩みや相談を良く聞き取ってくれ、職員を大事に思ってくれている」と話しておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修希望を優先的にシフト表に反映している。また、どんな研修が何時行われるか、研修案内をスタッフ全員が見れる場所に張り出し、研修を受ける機会の支援に努めている。		提携病院の師長を招き、定期的に医療面の講義をしてもらう予定。
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講をすすめておられ、職員は、「外部研修の受講によって、原点に立ち返ることができ、意欲の向上にもつながる」と話しておられた。職員は、関連施設内での研修を年に2回程度、受けるようになっている。		管理者は、「外部研修を受講する職員にやや偏りが見られるので、すべての職員が受講できるようにしていきたい。又、事業所内での勉強会の充実も図りたい」と話しておられた。今後、職員個々のスキルアップから、さらなる貴事業所のサービスの質向上を目指してかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			県・市の社協やグループホーム協議会などが、主催する研修会や、他の研修会にも積極的に参加して同業者と交流する機会を持ち、サービスの質の向上に励んでいる。		一部の職員だけではなく、職員全員が少しでも研修に参加し交流を持つ機会を増やす。
			(外部評価)		
			管理者は、3ヶ月に1度開かれる包括支援センター主催の勉強会に出席し、意見交換等をされている。又、近隣の他事業所の運営推進会議に相互に出席されている。職員は、関連施設の運動会や夏祭り等には、利用者と共に参加し、交流されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日々の申し送り時や、ミーティング。プチカンファ等で、悩み等を共有できるようにしている。また、職場を離れた場所での、行事(夕涼み・忘年会など)で、親睦や気分転換を図っている。		個々にストレスの原因が違うと思うので、まずその原因を探す事から始めたい。ひとりになれる休憩時間の確保を検討したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者も頻繁に職場に来ており、利用者と過ごしたり、職員の業務や悩みを把握しようと心掛けている。		職員の心身の健康を保つ為、年2回の健康診断を行っている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面談で、今まで生活してこられた環境・現状・不安・困りごと等を、本人や家族からよく聴き、本人をよく知る事に努め良いケアにつなげるようにしている。		アセスメント表をスタッフ全員に見てもらい、把握してもらっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前訪問時、本人家族別々に話を伺う時間を設けている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時話をよく聞き、何を求めているのか何が必要なかの状況把握に努めている。必要とあらば、他のサービスの紹介し、共に考えていけるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に事業所を見学してもらおう事から始め、現在の生活の場を見せていただき、少しからでもコミュニケーションがとれるように心掛けています。 (外部評価) 関連施設の特別養護老人ホームやケアハウス、併設の認知症対応のデイサービスを経て、入居される方もおられる。調査訪問時、関連施設の職員が利用者を訪ねてこられ、久しぶりの談笑を楽しんでおられた。		自宅で使われていた、家具や食器などを使用させて頂いたり、家族にも最初は数多く訪問して頂き環境の変化の軽減を図り、安心して頂けるように家族と相談して行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で、昔から行っていた料理・洗濯・掃除・畑仕事などを、手伝ってもらったり教えてもらっている。日々生活を共にしている事で得意な事など、それぞれ役割ができています。 (外部評価) 職員は、「利用者に笑顔で喜んでもらえるように」という思いを大切に日々支援されている。職員は、利用者の人生訓に学ばれたり、利用者の気遣いに励まされることもある。又、院展に出かけた際には、利用者から絵画や作者について教えてもらった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の訪問時は、近況報告をし居室にて家族だけでゆっくり過ごして頂いている。個別に、家族との散歩や外食の希望があれば支援している。また3ヶ月に1回は、家族に手紙や写真にて近況報告をしている。		年1回ではあるが、家族の集いの会を開催し家族と意見交流をしている。参加していただける家族がまだ少ないので、会を重ねるにつれ参加者が増えるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 訪問時は、近況報告。訪問のない方には、手紙や電話にて報告している。電話の場合は、本人にも電話を代わり、話をして頂いている。		殆ど面会に来られない家族に、訪問していただけるような声掛けや行事の検討をしたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) お彼岸、お正月などお墓参りなどに行かれたり、お盆、正月などご自宅や、子供さん宅に行かれたり、面会時など居室で水入らずで過ごしていただいている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) スタッフが入居者同士の関係を把握し、見守っているが、時としてトラブルの間に入る事も有る。気の合う方同士で過ごせる場所作りに勤めている。		利用者同士の関係に配慮し、必要があれば食事の席の席替えなどを行っている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院や他施設に移られた方には、面会に行く等している。関係を断ち切ることなく、いつでも相談を受ける事ができる事を説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			家族から情報や要望を伺ったり、本人の思いや要望を伺うなどして、意向の把握に努めている。情報収集が困難な場合は、本人の言動から、思いを推察し検討するようにしている。		1年前からセンター方式を導入し、入居時に家族に記入してもらい、一人ひとりの思いや暮らし方の情報収集を行っている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々の言葉や表情から、思いを汲み取れるよう努めておられる。センター方式のアセスメントシートを利用して、ご本人やご家族から得た情報を共有されている。		管理者は、さらに利用者個々の思いや意向の把握に努め、日々の細やかな個別ケアにつなげていきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居前に、本人や家族に聞き取りを行っている。またアセスメントシートを家族に記入してもらっている。また職員間で共有できるよう取り組んでいる。		日々の生活の中や家族の訪問時、新しい情報の入手時には、記録の追加をしていきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			暮らしの現状が把握しやすい、ホーム独自の経過記録用紙を使用している。また、必要に応じて申し送り時などに、過ごし方や支援内容の検討を行っている。一人ひとりの生活リズムを大切にしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族や本人の意見や要望を聞き、また職員全員でカンファレンスを行って介護計画を作成している。必要に応じ、少人数でのカンファレンスも行っている。		
			(外部評価)		
			ご本人の思いを主体に、ご家族の希望をうかがい、職員の気付き等も採り入れ、介護計画を作成されている。利用者のこれまでの暮らしが継続できるよう、生活歴等も踏まえた計画となるよう話し合われている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月職員全員でモニタリングを行い、介護計画の見直しを行っている。特に、状態の変化がおきた際には、検討し見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、定期的な見直しと、状態変化時には随時の見直しを行っておられる。個別のケア記録には、介護計画に沿った支援については、色分けをされており、介護計画の見直し時に反映できるよう工夫されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			利用者の状態変化や職員の気付きは、個々の経過記録に記載し、職員間の情報共有を行っている。特に把握してもらいたい記録には、マーカーで記している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			提携病院から、毎週定期に医師や看護師長の訪問があり、症状が軽い状態からの対応が出来、大事に至らなくて済む事が多い。また、本人や家族の状況に応じて、通院など必要な支援は、柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者が近所の理美容院を利用する際、付き添っておられる。又、利用者の誕生日には、希望に添って、お好きなところへ一緒に出かけておられる。訪問マッサージを受けておられる方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 週1回お話し相手ボランティアや、地域の学校の研修生を受け入れている。また、地域の公民館活動の、運動会や夏祭りに参加させてもらっている。年2回の防災訓練では、利用者、職員共に研修を受けている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族の希望による、訪問マッサージや公文学習療法を取り入れている。成年後見任制度(相談)や生活保護制度なども支援している。		もっとネットワークを広げ、たくさんのサービスを受けられるようにしたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターの主催で、勉強会を持ちケアの質の向上に反映している。		包括支援センターと協働で、地域の方を対象にした認知症の勉強会を持ち、経験による知識を地域に貢献したい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所時本人家族と相談し、かかりつけ医を決めている。提携病院は週1回の医師の往診と、看護師長の訪問が有る。また、受診時は状態に応じて、受診前や受診後家族に状況報告をしている。		
			(外部評価) 現在は、すべての利用者のかかりつけ医は、協力医となっている。病院受診の際には、ご家族の付き添いの有無にかかわらず、必ず職員が同行し、支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 提携医に認知症専門医では無いが、認知症の人の医療に熱心な医師が居るので、専門医受診時の相談や支援を受けている。		認知症に関する対処方法や治療が相談出来る、専門の提携医を探したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 提携病院の看護師に定期的に訪問してもらい、日頃の健康管理や医療面での相談・助言・対応を行っていただいている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、本人の情報を医療機関に提供し、入院によるダメージを防ぐようにしている。また、頻りに職員が見舞い、回復状況などを速く知り速やかな退院支援に結び付けている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者や家族が安心してサービスを利用できるように、家族・医師・看護師を交えて、話し合いを行っている。状態の変化に伴うご家族様の思いの変化に添えるよう支援している。 (外部評価) これまでに1名の方が、ご家族や職員に見守られながら最期を迎えられた。その際には、ご本人の希望で排泄を最期までトイレでできるよう配慮されたり、ご家族の思いにも寄り添い、水分補給については保健所にも相談する等、細やかな支援に努められた。		入居時にご家族から看取りについて大まかな意向を伺っている。 管理者は、今後さらに、看取りについての勉強会も行いたいと考えておられた。ご家族とも支援の方針を共有できるよう、話し合いを重ねていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の気持ちを最重要視し、医師・家族・職員が連携を取り、安心して最後を迎えられるよう、随時本人や家族の意志を確認しながら取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移り変わった場合、アセスメントや支援状況などの情報の共有を図りこれまでの生活の継続の支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価)		
			勉強会やミーティングの折に、利用者本位の支援について確認と改善に取り組んでいる。		利用者への声掛けなどで、利用者の誇りやプライバシーを損なうようなケアをしていないか職員間で注意し合っ て行きたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりのプライドや個性を尊重した声かけや対応を心がけておられる。昼間は、すべての利用者が布パンツで過ごせるよう支援されている。又、ホーム便りに掲載される写真や固有名詞、配布先については、ご家族の了解を得ておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の会話の中で、嗜好や希望などの情報を集め支援に活かしている。また、飲み物などは、リクエストを聞いて好みの物を提供している。		献立時、利用者の希望を聞きだせるようにしたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者の個々のペースや体調に配慮しながら、その日その時の本人の気持ちを尊重し、散歩や買い物、レクレーションなどの支援を行っている。		その人らしい暮らしとは何かを、職員間で考察したい。
			(外部評価)		
			食事時間や入浴等、利用者ひとり一人のペースに添った支援に努めておられる。昼下がりのひととき、職員とカルタをされたり、居間でテレビを楽しまれている方や、お気に入りのソファにゆったりとくつろいでおられる方がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 一緒に買物に行き好みの服を購入されたり、近所の美容室に行き要望に応じたヘアスタイルにして頂いたりしている。以前ご自分でお化粧された方で現在ご自分で出来ない方はお化粧してさし上げている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご入居者のそれぞれの得意な分野の役割ができ、皆で協働している。職員も一緒に食事をし、会話も楽しんでいる。		1/月のペースで外食 2/週、昼食を皆で考えている
			(外部評価) 調査訪問時、利用者がゴボウのささがきや盛り付け、配膳、食器洗い等をされている様子がうかがえた。又、事業所の畑で収穫した冬野菜が食卓を飾っていた。職員も利用者とともに会話を楽しみながら食事をされており、利用者が献立や買い出し等、食事作り一連の流れに携わることができるよう、ユニット毎に工夫しながら取り組まれている。季候の良い頃には、裏庭で3時のお茶を楽しまれることもある。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 毎日午前中のティータイムは、それぞれお好きな飲み物を、メニュー表を見て選んでいただいている。1/週居室にて飲酒されている方もいらっしゃる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄記録により、排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮しながら対応している。必要に応じ尿取りパットなど使用しているが、全員布パンツ着用し、トイレでの排泄に努めている。		失禁が増えてきた方には、安易にオムツ移行しないよう職員で検討している。また自信喪失につながらない為の状況に応じたパット類使用検討している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			夏場は希望者は毎日入浴されている。冬場はご入居者と相談し隔日入浴を基本としている。夜間入浴は行っていない。		季節に応じた菖蒲湯、ゆず湯などで季節感を味わっていただいている。
			(外部評価)		
			季節感のある入浴剤や、足裏マッサージ等、入浴を楽しめるよう工夫されている。入浴を強く拒まれていた方が、入浴時間を起床時にしたところ、その後スムーズに入浴されるようになった例もある。湯船で温まっていただけよう支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中でも横になり休みたい方は臥床し休まれたり、ソファで傾眠されている。就寝前に温かい飲み物をお出しし、団らんの時間を設け、安眠していただけるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個々の能力、得意な事に合わせてそれぞれ役割ができている。役割をこなす事により自信につながっている方もいらっしゃる。ドライブ、散歩、オセロ、パズルなどで各々気晴らしを行なっていけるよう支援している。		
			(外部評価)		
			料理や洗濯物たたみ、畑仕事、生け花等、利用者一人ひとりが楽しみごとや出番を見出せるよう支援されている。公文式学習に励まれたり、週1回の晩酌やCDで音楽を聴くこと、月に1度のお茶会を楽しみにされている方もおられる。毎週月曜日に来て下さるお話ボランティアの方との触れ合いを、皆さん心待ちにされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お財布はホームで管理しているが、欲しい物、必要な物がある際は自由に使えるようになっている。		実際にお金に触り、ご自分で支払う機会を増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩・買い物・裏庭でのテータイムなど、天気や本人の気分や体調に合わせて日常的に行い、季節感を肌で感じてもらえるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの希望にそって、プロ野球観戦、歌手やマンドリンのコンサート、買い物、散歩、外食等に出かけられるよう支援されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人の希望に添い、美術館、コンサート、お墓参りなど個別に外出している。		ご家族様に依頼し、温泉旅行に行かれた方もいる。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話の希望があれば支援しているが、掛けられる頻度は少ない。また、ご自分で描いた絵手紙で、娘さんに手紙を書いていただくよう働きかけている。		希望があれば代筆など支援していきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間などは決めておらず、仕事の前や帰りなど、何時でも家族の都合のいい時に訪問してもらえるようにしている。訪問時は、お茶などを飲まれながらゆっくりしてもらえるようにしている。また、職員も近況報告など情報交換をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 「どんな事が有っても、身体拘束は行わない。」を職員間で徹底しているので、ミーティングや申し送り時に、ケア内容が身体拘束になっていないか話し合っている。		言葉による拘束の認識がまだまだ甘いように思う為、ミーティング時など話し合い、知識、意識の向上に努めたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人ひとりのその日の気分や状態を把握し、利用者が外出しそうな時は、さりげなく声掛けをしたり一緒についていくなどして、夜間以外は施錠しないケアに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は、玄関、裏庭に通ずる出入り口等、施錠せず、利用者が自由に過ごせるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録などの事務作業を行いながら、全員の状況を把握するように努めている。夜間は、2時間おきに利用者の様子を確認すると共に、自室から出てこられた時に直ぐ対応できるように、全室が見渡せる場所で記録を取っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状態に合わせ、厳重に保管する物・保管管理が必要な物・利用者が使用するときに注意が必要な物などに分けて保管管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 現状の利用者の状況に応じて、推定される事故を職員間で話し合い、事故防止に努めている。また、ヒヤリハットの報告や危険への気付きを収集し、事故原因や予防策について検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回消防署からの救命救急法を定期的なを受けている。また、緊急時の緊急連絡方法や対応策を、電話のそばに貼っている。		緊急時の連絡先を、電話に登録する事で、短縮で医師 消防署などと慌てても確実に電話できるようにしたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回利用者と共に、火災避難訓練をしている。1回は日中1回は夜間を想定して実施し、緊急時のマニュアル通り、地域の方への連絡も行い退避場所へ、誘導・最終点呼・反省を行っている。 (外部評価) 隣家の方にも参加していただき、避難訓練を実施された。避難場所を近隣の方に提供していただいている。足の不自由な方を2階から避難させる際の用具も用意されている。又、地域の防災訓練には、職員も参加された。		避難訓練後の反省、また気付いた点を、各ユニットで話し合い、次回の訓練に活かして行き防災意識を高めたい。 スプリンクラーの設置を計画されている。今後も、いざというときに、すべての利用者が安全に避難できるよう、話し合いや訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者一人ひとりについて、起こり得るリスクについて把握し、家族には対応策を話している。事故発生時は、家族に報告し今後の対応策を話し合い、快適な日々が過ごせるように努めている		リスクは有っても、利用者さんの生活の質の向上を優先していくよう努めている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックをし異常の早期発見に努めている。発熱がないか状況により、水分補給をしてもらっている。日常生活の中、異変を見逃さないように注意し、変化のあった時は、即医師に連絡し指示を仰いでいる。また家族にも報告し、記録も残している。		日ごろから注意し、些細な体調の変化を見逃がさないよう、異常の早期発見に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示通り服薬し、利用者さんが心身共に安定が得られる様観察し、変化が有るときは医師に連絡する。新しい薬の処方有るときは、職員が処方箋を把握理解している。		薬の変更が有った時は、処方箋と共に内容を申し送り、徹底している。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日々の排泄の状況を記録し申し送りで確認し、自然排便を促す為食物繊維の多い食材の摂取や水分補給の取り組み、また出来る限り毎日散歩に出掛け、身体を動かす事での便秘予防に心掛けている。		水分摂取や散歩、体操等、薬に頼り過ぎない働きかけを継続して行く。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 誤嚥性肺炎の予防の為に、食後利用者に合わせて、歯磨きの支援をしている。週1回義歯・歯ブラシの消毒をボリデントで行っている。また、必要に応じ歯科受診もしている。		自歯の方は毎月歯科受診し、歯石除去など行なっている。個々の状態に合わせた口腔ケアを行いたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事、水分摂取量チェック行なっている。季節感を大切にしながら、栄養バランスを考えて各々に応じた対応行なっている。		就寝前に水分補給をしながら、団らんを図っている。
			(外部評価) 肉や魚のバランスに配慮し、いりこや昆布の出しを使用されている。就寝前に、しょうが湯等を飲まれたり、夜間は居室にストロー付きのペットボトルを持ち込む等、水分補給できるよう支援されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 職員が勤務に着く前には、イソジンでのうがいや手洗いの徹底。外出時のマスク使用や後の手洗いの実施。便・尿失敗時の衣類を消毒して洗濯。職員や利用者全員インフルエンザ予防接種の実施。水虫に対しては、入浴用の足拭きマットを利用者個別にしている。また、必要時は、インターネットや保健センターから情報収集し、全職員が把握するようにしている。		外部からの感染予防として、玄関、2F入口にマスク、消毒を設置している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材は、賞味期限を守り、傷みやすい物は買い置きしないようにしている。また、毎日夜間、まな板・布巾・三角コーナー・洗い桶などの除菌消毒を行っている。		調理した物の残りは作らず、その時で処理廃棄している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関横の花壇に、季節の花や木を植えているが、手入れが行き届いてない。玄関前に、季節の花の鉢植えを置いている。		玄関横の花壇は、専門家の協力を得て模様替えの予定にしているので、早く実施して皆が癒されるような花壇を作りたい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 外の景色がリビングの窓越しに見え、天気や季節感が感じられる。また、台所もリビングの近くに有り、食事作り音や匂いを感じたり、炊事をしながら会話をするなど、生活感を感じていただけるようにしている。 (外部評価) 利用者が水仙の花を生けてくださっていた。ユニットの入り口や居間には、観葉植物が配置され、窓辺には、鉢植えが並べられていた。湿度を保つために洗面台に水を張ったり、トイレに脱臭効果のある炭を置く等、配慮がうかがえた。ユニットによっては、利用者が書かれた絵や書道の作品を飾っておられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 食堂とリビングが一緒ではあるが、ソファでおしゃべりや、食卓などでオセロをされたり思い、思いに過ごされています。		畳スペースをもっと活用できるよう検討したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は、一人ひとりに居心地よく過ごしてもらえるように、寝具や筆筒・椅子・人形など自宅で本人が使い慣れた物の持込をお願いして居ます。また、入居されてからも、本人の希望に添った物を揃え、本人が居心地よく過ごされるように支援している。 (外部評価) 居室には、タンスや愛用の椅子、テレビ等が持ち込まれ、色紙や写真を飾っておられる方もうかがえた。又、あるご家族がユニット全員の方に毎月配ってくださる、お手製の利用者の写真入りカレンダーを、大切に飾っておられた。入居後、通販で購入したソファを置いている方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 共有の場所には換気扇を設置しており、個室にも換気口を設け臭いが籠らない様にしている。また、体調、外気温等考慮し、居室に設置しているエアコンの調節行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下で車を椅子が離合できる幅の確保や、全廊下の左右に手摺の設置などで、安全に不安が少なく自立した生活が出来るように工夫しています。		もっと安全に入浴できるように、手すり増設等検討したい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 本人にとって何が分かり難いのか、如何したら本人の力で出来るのかを、その都度その都度、家族在宅時の様子を伺ったり、職員間で話し合い、環境整備に努めている。		もっと本人の力を発揮できるよう支援していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 裏庭に芝生を敷き詰め、芝の感覚や色を楽しんだり、ベンチを置きひなたぼっこや涼が取れるようにしている。また、敷地内の菜園で、野菜を作り季節感を肌で感じたり、収穫の喜びを味わえる環境作りをしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③利用者の1/3くらいの	ご入居者やご家族の思いや願いを伺って、望む生活ができるよう職員で話し合っているが、十分ではない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある	ゆったりと一緒に食事したり、おやつを食べたりゲームをしたりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが	何事においても、無理強いはしないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	お手伝い(役割)等支援する事で、生き生きとした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	コンサート、美術館、お墓参り、デパート、大街道等行きたいところへの外出を支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	提携病院より週2回往診があり、その時に痛いところや不調なことを訴えている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	職員、ご家族様で話し合っって柔軟に対応するよう心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と	面会時に報告をしたり、要望を伺ったり、また、更新時には必ずご家族様と面談し信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように	ご入居者のご家族様等、毎日のように訪問がある。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ② 少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	町内より地域行事の招待やご近所さんから野菜を頂いたりしている。また畑仕事の指導を受けている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	ご入居者と一緒楽しもうという姿が見られる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	「ここを出て行きたい」「家に帰りたい」等の思いには応じられない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	ご家族から感謝の言葉を掛けてくださったりするが、十分ではない部分があると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

公文学習療法を取り入れ、認知症に対して積極的にアプローチしています。
 地域の中に溶け込めるよう、散歩や買物などに積極的に近隣に出掛けています。
 出来る限りご入居者の思い、ご家族の思いに添えるよう個々に柔軟に対応しています。
 ご入居者本位のケアを心がけています。